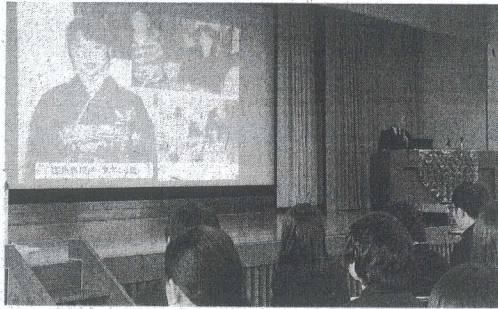


娘事故死 命の大切さ訴え

江角さん松江商高で220人に



失った次女の映像の前で、命の大切さについて語る江角さん(県立松江商高で)

犯罪や事故の被害者遺族が家族を失った悲しみを伝える「命の授業」が26日、松江市浜乃木の県立松江商高であり、3年生や教職員計約220人が遺族の話に耳を傾けた。

15年前、飲酒運転の車との衝突事故で次女(当時20歳)を失った出雲市斐川町、住職江角弘道さん(68)が講演。江角さんは各地の大学や高校で、事故後に人と会うのが嫌になった経験など遺族の苦しみを語り、同じ

ような犠牲者や遺族を増やさないための活動を進めている。
この日は「娘を亡くして、改めて生命の大切さを知っ

た。皆さんは加害者にも被害者にもならないようにしてほしい」と訴えた。参加した赤名玖美さん(18)は「事故の悲惨さ、遺族の苦

難を理解できた。将来、車などを運転することがあれば、十分気をつけたい」と話していた。

(宮地恭平)

島根

松江支局
〒690-0886
松江市母衣町 95-1
☎ 0852-23-1411